

## 学長のコラム

### SLにまつわる思い出

新型コロナウイルスの第4波が第1～3波を超える大きなうねりとなり、収束の気配がありません。熊本市でも連日、多くの感染者が報告され、5月16日から6月13日まで「まん延防止等重点措置」が適用されました。本学でも感染防止対策の強化をはかりますが、皆様も一層の感染防止に努めて頂きたいと思います。

ところで、今月1日から鹿児島本線をSL人吉が走っているのをご存じでしょうか？5月、6月の土日と祝日に、熊本-鳥栖間を1往復しています。新型コロナで身動きがとれない今、SLに旅情をかき立てられるのは私だけではないと思います。その思いに駆られて、早速、2日の日曜日に西里駅に向いて撮影したのがこの1枚です（左）。黒光りするSL人吉の勇姿を捉えることが出来ました。

私が子供の時は、鉄道旅行と言えばSLでした。幼稚園の頃は、祖父に連れられて福岡や阿蘇などへ二人旅に出かけることもしばしばでした（中）。化血研の用事で厚生省に出張する祖父を熊本駅に見送りに行き、特急「はやぶさ」の一等寝台の内部まで見せて貰ったこともあります（右）。さすがに東京まで一緒に行くことは出来ませんでした。いつか豪華な寝台列車で旅行がしたいと思ったものです。天草への海水浴にも三角までSLを利用しましたが、熊本駅のホームで切符をなくしたことがありました。「切符がないので僕は行かない！」とベソをかいていると母が駅員さんに伝えてくれて、とりあえず三角行きの列車に乗ることができました。あとで車掌さんがやってきて「ホームの線路脇に落ちていた」と伝えてくれて家族全員、ホッとしました。みんな親切で、のどかな時代でした。

肥薩線をSLで旅したこともあります。この路線はトンネルが多く、トンネルが近づくと「窓を閉めて下さい」と車掌さんが注意してまわります。油断していると、煙突の煙が車内に入ってきて鼻の穴がススだらけになったりしました。そんな時は顔を見合わせて、お互いに大笑いでした。SLには、そんな楽しい思い出が一杯です。



西里駅を疾走するSL人吉



立野橋梁にて（S32年1月）



祖父の見送り（S33年頃）

### 5月・6月・7月の主な行事予定

5/26 (水)	銀杏学園 理事会・評議員会
5/31 (月)	新任教員によるお披露目講演会及び昇任教員による講演会
6/5 (土)	リハ (ST) 実習指導者会 ※オンラインで実施
7/18 (日)	7月期オープンキャンパス
7/21 (水)	(助産) 前期授業終了
7/26 (月)	(助産) 前期定期試験～7/29 (予備日含)
7/28 (水)	(学部) 前期授業終了
7/29 (木)	(学部) 前期定期試験～8/6 (予備日含)
7/31 (土)	(助産) 夏期休業日～8/17

#### ※新型コロナウイルス情報

5月16日（木）から「まん延防止等重点措置」が熊本県に適用されております。【～6/13（日）】

### R2年度成績優秀者表彰

今年度もコロナ禍で成績優秀者全員を一堂に会しての表彰式が実施できなかったため、学長に代わって学務課長が成績優秀者に対して表彰状

と奨励金、そして学長からのメッセージカードを手渡ししました。受賞されたみなさんのますますのご活躍をお祈りします！（文責：学務課）



### 「構え」の構築へ基調講義

#### （「アカデミックスキルⅠ」基調講義）

本年度、全学必修科目「アカデミックスキル」では、1年次生が履修するⅠ（前期）、Ⅱ（後期）に、ゲスト講師による基調講義を取り入れています。学びの入り口に立つ学生たちにさまざまな角度から刺激を与えることで、学びや人生に対する「構え」をつくるきっかけとするのが狙いです。4月12日に始まった「アカデミックスキルⅠ」では、第2～4回の授業を基調講義に充て、学内外の3人の講師が以下の日程で教壇に立ちました。

講義は学科ごとに実施したので、それぞれの講師には同じ内容の講義を2日間で3回お願いすることになりましたが、快く引き受けていただきました。

各講師とも、大学で学ぶ意味、伝える力の重要性などについてそれぞれの立場から実例を交えながら熱弁されました。授業後の学生アンケートからも学修への動機付けとなったことがうかがわれました。基調講義は後期開講のⅡでも予定しています。一連の取り組みを実のあるものとするため、授業と連動させていくつもりです。



#### 【基調講演 日程・演題及び講師一覧】

4/19-20「大学生の学修マインド」：河瀬晴夫 事務局長

4/27-28「伝える力」：久保田憲寿 就職・実習支援課長

5/10-11「道具としての言葉」：渡邊元生 熊本日日新聞編集専門委員

（文責：アカデミックスキル支援センター 渡邊淳子）

## 第43回『私の部屋でランチを』

(2021年5月13日開催)

『私の部屋でランチを』とは、教職員・学生を問わず、毎回おひとり、またはグループにご登壇いただき、趣味やお仕事、研究のことなどをお話しいただく、「新たな発見や出会い、学びの共有空間」です。

昨年度は、新型コロナウイルス感染予防のため休止しておりましたが、今年度初回は、キャンパステラス 30名限定と1500教室へ生中継及びZoom配信のハイブリッドで開催し、さらに期間限定でオンデマンド視聴の対応も行いました。

今年度第1回目の演者は、この3/19から本学理事長に就任された木下統晴理事長です。演題は、『大学入学から52年、そしてOH!120 どんな時にも前向きにチャレンジ!』



学生時代から就職まで、自らの体験と世相を合わせてご講演いただきました。次回も引き続きご講演いただきます。どうぞご参加ください。(文責：図書館)

## FDセミナー

(数理・データサイエンス・AI教育の現状と課題)

令和3年3月22日(月)に令和2年度第2回数理データサイエンス教育FDセミナーを開催し、「数理・データサイエンス・AI教育の現状と課題」のタイトルにて共通教育センター竹永和典教授にご講演をいただきました。

ご講演では、政府の「AI戦略2019」により「数理・データサイエンス・AIに対する全般的リテラシーの向上」が大学・高専で教育の一つとして位置づけられ、すべての学生(約50万人/年)が初級レベルの数理・データサイエンス・AIを修得することになっており、その為の制度設計がなされているなどの報告がなされました。また、「AI戦略2019」とはどのようなものか、その内容と国内大学における現状などを紹介いただきました。さらに、本学の数理・データサイエンス・AI教育導入の可能性(方法)と課題についてもご講演をいただきました。

本学では、すでに教養科目の中で「AI戦略2019」レベルのリテラシー教育が部分的になされており、学生には提示されたリテラシー以上の能力を身に付けて活躍して欲しいと思っています。(前FD委員長 檜原真二)

## ピア・サポーター&プチ・サポーター養成講座開催

令和3年3月30日(火)に養成講座を開催し、ピア・サポーター53名、プチ・サポーター20名が参加しました。久しぶりに対面での開催となった今回の講座は、「新入生オリエンテーションでの活動」をテーマに掲げ、新入生役、ピア・サポーター役に分かれて様々な場面を想定したロールプレイを行いました。

最後に、竹屋学長から激励のお言葉をいただき、ピア・サポーターとしての自覚と活動への決意を新たに感じたようでした。

講座終了後は、黙食ではありませんでしたが、レストランにて昼食会を開催し、サポーター同士の交流の場を作ることができました。

今年のオリエンテーションでは初めての試みとして、教科書販売への誘導を兼ねたキャンパスツアーを行いました。また、「一人暮らし応援隊」、「履修登録サポート」といった相談会も開催し、臨機応変に対応するピア・サポーターたちの姿が随所で見られました。

(文責：学生相談・修学サポートセンター)



## 朝日野総合病院との連携協定の締結について

令和3年3月15日(月)、本学は医療法人朝日野会 朝日野総合病院と連携協定を締結しました。本学はこれまで、済生会熊本病院、熊本機能病院、くまもと南部広域病院、福田病院との間で連携協定を結んでおり、今回で5施設目となります。

朝日野総合病院とは、特にリハビリテーション学科の理学療法学専攻が実習や就職で強い結びつきがありますが、連携協定を結ぶことによって、その維持と更なる発展を目指します。もともと、リハビリテーションの養成校は実習施設の確保が困難で、その結果、宿泊を伴った遠方での実習となることは珍しくありません。近隣で多くの学生の実習施設を確保できれば、その分、学生の移動時間等の負担が減ることに加え、実習指導者と教員が密に連絡を取ることができるため教育効果も上がると期待しております。

(文責：経営企画室長 水野恵介)



※この記事は公開していません。

## 私の秘話ヒストリー

今回は共通教育センターの東谷孝一センター長に投稿していただきました。

今年ももうすぐ夏がやってくる。ひと月以上続く梅雨が明けると待ち遠しい初夏がおとずれる。空が明るくなる。風も軽やかになる。夏の盛りのうだるような暑さはまだ先である。爽やかな暑さを楽しむことができる。

この季節はどこにお出かけするのも楽しい。我が家のお気に入りの行楽地は子どもたちが小さいころから水族館である。「海の中道」の松原を進んで行くと、水族館の銀白の建物が見えてくる。見上げるばかりの高さの水槽のなかを巨大なサメが悠々と泳いでいる。クラゲが幻想的な光を放って舞っている。海の生き物たちの多様さと美しさにしばし魅了される。

いよいよショーの時間になる。観客席に座ると、プールの向こうに博多湾がエメラルド色に広がっている。銀色のさざ波のなかをフェリーボートが進んでいく。大空を浮かぶように飛行機が横切っていく。イルカたちの連続大ジャンプと水しぶき。真っ白にかがやく雲と、抜けるような青空がまぶしい。

初夏の空と海と風。自然の恵みに思いを新たにす。